ForceLink

SECURE REMOTE ACCESS

VPN運用の不安を、設計から見直した。

ForceLink は、社内へ安全につなぐセキュアリモートアクセス。

置いて、招待コードを配るだけ。テレワークでも、社内へ安全に。

最新の暗号技術で、社内へ安全につなぐための“安心”を、手軽に。人数で数えない、わかりやすい定額。

製 品 概 要 資 料

ForceLink

フォースネット株式会社

2026年6月 | 本資料は公開サイトの情報に基づいて作成しています

“VPNは危ない”には、
はっきりした理由があります。

VPNそのものが危険なわけではありません。問題は、装置をインターネットに露出したまま脆弱性を放置したり、パスワードだけで接続できたり、接続後に社内LAN全体へ到達できてしまう、といった**“古い設計や運用”**にあります。ForceLink は、その“狙われる理由”を設計の段階で小さくしています。

弱点① 装置がインターネットに丸見え

古いVPN機器の重大な弱点が狙われ、事故が多発しています。

ForceLink：管理画面はインターネットに出しません。外に公開するのは必要最小限の入口だけ。狙われる面を小さく設計しています。

弱点② 会社をまたいで巻き込まれる

1台が侵害されると、横移動で被害が広がります。

ForceLink：企業ごとにネットワークを分離。他社とネットワークが混ざらないので、巻き込み事故が起きにくい設計です。

弱点③ パスワードで入れてしまう

認証情報が盗まれると、侵入されてしまいます。

ForceLink：パスワードでトンネルは開きません。あなたの“鍵”はPCの中だけで作られ、外に出ません（標準のWindows専用アプリの場合）。

弱点④ 接続後、社内LAN全体が見えてしまう

「つながれば社内ぜんぶに到達」になりがちで、横移動の温床になります。

ForceLink：社内リソース・ルート制御で、VPN接続後も社内LAN全体を開放せず、ユーザーごとに必要な宛先だけを許可します。

正直な位置づけ

ForceLink は「現代的に設計し直したVPN」です。大規模なSASE製品のすべての機能までは持ちませんが、古いVPNで問題になりやすい弱点を設計で抑えています。（「絶対安全」とは言いません。）

むずかしいネットワークの知識は、いりません。

01 / DEVICE

ForceLink BOX

オフィスに置く小型の装置。社内ネットワークへの「安全な入口」。設定はフォースネットが済ませてお渡しするので、置いてLANにつなぐだけ。

02 / CLOUD

クラウド中継

インターネット上の安全な中継点。企業ごとに分かれていて、他社と混ざりません。中継は国内のデータセンターで運用しています。

03 / CLIENT

専用アプリ

招待コードを入れるだけで設定完了。あなたの“鍵”はPCの中だけで作られ、外に出ません（クラウドに渡すのは公開用の鍵だけ）。

社員のPCから ForceLink BOX までのVPN区間を暗号化。インターネットの経路で中身を見られません。

社内リソース・ルート制御 — つながった後の、ゼロトラスト。

VPN接続後も、社内LAN全体を見せない。社内リソース・ルート制御（Secure Route Control）は、ユーザーごとに必要な社内PC・サーバー・NAS だけを ForceLink BOX 側で許可します。つながった後の“行ける先”まで絞ることで、万一の横移動リスクを抑えます。

ユーザー単位で許可

誰がどの社内リソースへ接続できるかを管理。部門・役割ごとに範囲を分けられます。

宛先・ポート単位で許可

RDP端末・NAS・業務サーバー・Web管理画面など、実務に近い単位で設定できます。

BOX 側で強制

許可はオフィス側の ForceLink BOX で強制。クライアント端末の設定変更だけに依存しません。

補足

宛先IP・ポート・プロトコル単位の制御で、アプリ名を自動識別するものではありません。「完全なゼロトラスト」をうたうものではなく、つながった後の到達範囲を小さくするための機能です。

導入は、かんたん3ステップ。

クラウドの準備も、BOXの設定も、セキュリティの作り込みも。難しい初期構築はフォースネットが事前に行います。お客様にお願いするのは、次の3つだけ。

1

BOXを置く

設定済みで届く ForceLink BOX を、オフィスのLANにつなぐだけ。今お使いのルーターやネットワークはそのままでOK。面倒な経路設定は不要です。

2

招待コードを配る

管理画面から社員ごとに招待コードを発行して渡すだけ。メールやチャットで配れます。コードは1回限り・期限付きです。

3

つながる

社員は専用アプリ（標準は Windows 11 向け）に招待コードを入れるだけ。設定はそれで完了し、すぐにテレワークを始められます。

むずかしいところは、ぜんぶこちらで。

- ✓ クラウド構築・運用
- ✓ ForceLink BOX の初期設定
- ✓ 企業ごとのネットワーク分離
- ✓ セキュリティ設計

「設定ゼロ／全自動」ではありません。初期構築にはフォースネットが行う作業があります。だからこそ、お客様は“置く・配る・つなぐ”に集中できます。

今のネットワークのまま

ForceLink BOX を社内LANにつなぐだけで、既存のルーター・ネットワーク構成を大きく変える必要はありません。テレワークだけを安全に足せます。

導入までの期間・サポート

個別確認 標準的な流れは公開サイト「導入の流れ」に掲載。実所要日数と設置時サポート窓口・受付時間はサポート仕様ページに記載しています。

あなたの鍵は、PCの外に出ない。

標準の Windows 専用アプリでは、鍵はPC内で生成。公開用の鍵だけがクラウドへ渡り、秘密の鍵は端末に残ります。だから、クラウドが万一のぞかれても、あなたの鍵は奪えません。パスワードでトンネルを開く方式ではないため、合言葉の漏えいによるなりすましが起きにくくなります。

管理画面は非公開

管理画面はインターネットに出しません。外に公開するのは必要最小限の入口だけ。狙われる面を小さく設計しています。

企業ごとに分離

クラウド中継は企業ごとに分かれていて、他社と混ざりません。国内のデータセンターで運用しています。

鍵ベース接続

端末ごとに固有の“鍵”で本人確認。標準のWindows専用アプリでは秘密の鍵は端末の中だけで作られ、外に出ません。

暗号化の区間

社員のPCから社内の ForceLink BOX までのVPN区間を、最新の暗号技術で暗号化。社内LAN内の通信は各システムの方式に依存します。

正直に、お伝えします。

- 「絶対安全」とは言いません。できることと、これからのことを正直にお伝えします
- 「SASEです」「完全なゼロトラストです」とは申しません。SASE製品が持つすべての機能（Webフィルタリング等）まではカバーしません
- 多要素認証（MFA）は現時点では提供しておらず、今後の対応を検討しています。MFAが必須要件の場合は、大規模なZTNA/SASEの検討をおすすめします
- 標準は Windows 11 向けの専用アプリです。Mac・iPhone・Android は個別対応で利用できます（少数向け・管理者が設定を発行）。「鍵が端末から出ない」方式は標準のWindows専用アプリの特長です
- 社内リソース・ルート制御は宛先IP・ポート・プロトコル単位の制御で、アプリ名や業務システムを自動識別するものではありません
- 裏付けのない数字は載せません。新しいサービスのため「◯社が導入」といった数字は掲げず、設計の中身でご判断いただいています

「直接公開しない」「接続後の到達範囲を絞る（最小権限）」といった設計は、IPA・総務省・NIST などの公的指針で重視される考え方を参考にしています（これらの機関がForceLinkを推奨・認定しているわけではありません）。

初期費用0円。枠で決まる定額。

初期費用0円。BOX・クラウド中継・初期設定込み。利用人数の「枠」で料金が決まる定額制で、ユーザーごとの追加課金はありません。サイト申込は年払い・請求書払いで受付します。月額払いはクレジットカード決済対応後に受付予定です。51名以上は個別見積。

プラン	利用人数	初期費用	月額プラン（受付準備中）	年額プラン
スターター	～5名	0円	14,800円/月	162,800円/年
スタンダード	～10名	0円	19,800円/月	222,000円/年
ビジネス	～20名	0円	22,800円/月	258,000円/年
プロ	～30名	0円	25,800円/月	294,000円/年
エンタープライズ	～50名	0円	31,800円/月	366,000円/年
51名～	大人数	0円	個別見積（複数拠点・高可用構成）	

✓ユーザー追加課金なし（枠を超えたら上位プランへ）

✓初期費用0円・BOX・クラウド中継・初期設定込み

✓サイト申込は年払い・請求書払い

✓初期構築・アクセス制御の設計はフォースネットが担当

＊ForceLink BOXは貸与品です。解約時は返却が必要で、未返却・紛失・破損時は所定費用が発生する場合があります（詳細はForceLink BOX提供条件）。表示価格はすべて税別です（別途消費税および地方消費税がかかります）。拠点/BOX追加・設定変更の追加・BOX買い取りなどのオプションもお見積りでご案内します。

導入までのステップ

1. **料金・条件の確認** — 公開価格、FAQ、サポート仕様、契約条件をサイト上で確認
2. **お申込み** — 公開価格からご利用規模に合うプランをお選びいただけます（51名以上・個別構成のみ個別見積）
3. **初期構築** — クラウド構築・BOXの初期設定・アクセス制御の設計はフォースネットが実施
4. **置く・配る・つなぐ** — 設定済みのBOXを置き、招待コードを配れば、テレワーク開始

「置くだけ」を、つくってきた会社です。

フォースネット株式会社は、2010年8月設立のネットワークの会社です。“置くだけ”で使える製品を手がけ、2017年からは自社VPNサービスを、パスワードに頼らない証明書（鍵）ベースの認証で運用してきました。さまざまなネットワーク構築（SI）の経験も重ねています。ForceLink は、その経験を最新の暗号技術で設計し直した新世代です。

事業内容

ネットワーク機器・サービスの開発・提供
システムインテグレーション
VoIP電話事業

“置くだけ”製品の系譜

おうちワークBOX ／ オフィスワークBOX ／ ワンタッチVPN（既存）
ForceLink BOX ― 新世代（本資料）

会社情報

フォースネット株式会社（Forcenet Inc.）
〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-4 大場ビルB館6階
設立 2010年8月 ／ 代表 漆谷 智行
スローガン「製品とソリューションで、ネットワークの未来を創る」
コーポレートサイト forcenet.jp

正直な姿勢

「絶対安全」とは言いません
裏付けのない数字は載せません
多要素認証（MFA）は今後対応を検討

料金・FAQ・契約条件を公開中

料金、導入条件、サポート範囲、契約条件をサイト上で確認できます。51名以上・複数拠点・追加BOX・高可用構成などの個別要件だけお問い合わせください。

WEB https://forcelink.forcenet.jp/pricing

本資料の記載内容は2026年6月時点の公開サイトに基づきます。表示価格は税別です。51名以上、複数拠点・追加BOX・高可用構成は個別見積です。ForceLink BOXは貸与品で、未返却・紛失・破損時は所定費用が発生する場合があります。

© 2026 Forcenet Inc.